

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年8月7日
【四半期会計期間】	第83期第1四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第1四半期連結 累計期間	第83期 第1四半期連結 累計期間	第82期
会計期間	平成26年4月1日 平成26年6月30日	平成27年4月1日 平成27年6月30日	平成26年4月1日 平成27年3月31日
売上高 (千円)	652,660	618,830	2,752,834
経常利益 (千円)	49,736	62,862	167,368
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	30,233	38,079	94,083
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	33,941	55,577	213,901
純資産額 (千円)	2,060,569	2,274,404	2,240,530
総資産額 (千円)	3,228,333	3,510,132	3,422,085
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	14.28	17.98	44.42
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.1	62.9	63.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	106,977	14,247	175,575
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	44,001	15,111	123,195
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	5,804	31,652	75,664
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	332,387	254,226	251,931

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、従来開示しておりました「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

## 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、従来開示しておりました「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

#### (1) 経営成績の分析

当社グループの平成28年3月期第1四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較してアンブルは好調でしたが管瓶が減少したため昨年実績を下回り、売上高6億1千8百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

利益面につきましては、売上高は減少しましたが昨年10月から実施した稼働体制の変更による稼働率や歩留りの向上と商品及び製品の在庫増に伴い営業利益5千3百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益6千2百万円（前年同期比26.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3千8百万円（前年同期比26.0%増）とそれぞれ増加しました。

#### (2) 財政状態の分析

##### （総資産）

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8千8百万円増加し35億1千万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金（純額）が5千9百万円、建設仮勘定が1千6百万円減少した一方で、商品及び製品が1億円及び投資有価証券が2千万円増加したことによるものであります。

##### （負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して5千4百万円増加し12億3千5百万円となりました。主な要因は、買掛金が1千5百万円及びその他が3千3百万円減少した一方で、賞与引当金が3千7百万円及び長期借入金が5千3百万円増加したことによるものであります。

##### （純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して3千3百万円増加し22億7千4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1千6百万円及びその他有価証券評価差額金が1千3百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には2億5千4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1千4百万円（前年同四半期は1億6百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が6千2百万円、賞与引当金の増加3千7百万円及び売上債権の減少による収入5千9百万円があった一方で、たな卸資産の増加1億7百万円と未払消費税等の減少による支出3千1百万円及び法人税等の支払2千7百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1千5百万円（前年同四半期比65.7%減）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる1億9百万円の収入があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億円と有形固定資産の取得による支出2千4百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3千1百万円（前年同四半期は5百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出4千6百万円、配当金の支払による支出1千6百万円があった一方で、新規の長期借入金による収入1億円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年8月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,100	21,131	-
単元未満株式	普通株式 4,800	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,131	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目 15番9号	24,100	-	24,100	1.12
計	-	24,100	-	24,100	1.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	371,700	364,390
受取手形及び売掛金(純額)	2 689,815	2 630,056
有価証券	19,728	25,728
商品及び製品	457,260	557,652
仕掛品	2,517	155
原材料及び貯蔵品	43,240	52,392
未収入金	36,483	41,605
繰延税金資産	45,525	54,304
その他	1,229	4,278
流動資産合計	1,667,501	1,730,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	347,798	354,720
機械装置及び運搬具(純額)	133,779	149,487
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	29,988	13,845
その他(純額)	7,927	7,229
有形固定資産合計	965,590	971,379
無形固定資産	1,511	1,413
投資その他の資産		
投資有価証券	744,745	765,414
その他	50,354	48,977
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	787,482	806,774
固定資産合計	1,754,584	1,779,567
資産合計	3,422,085	3,510,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	180,274	164,606
1年内返済予定の長期借入金	147,800	164,600
未払法人税等	26,356	37,566
未払事業所税	7,409	1,762
賞与引当金	56,563	94,463
その他	170,012	136,070
流動負債合計	588,416	599,068
固定負債		
長期借入金	136,800	173,400
繰延税金負債	173,712	180,643
役員退職慰労引当金	131,277	134,368
退職給付に係る負債	122,591	119,486
資産除去債務	28,758	28,762
固定負債合計	593,139	636,660
負債合計	1,181,555	1,235,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,661,537	1,678,438
自己株式	8,450	8,450
株主資本合計	1,760,769	1,777,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417,205	430,801
その他の包括利益累計額合計	417,205	430,801
非支配株主持分	62,554	65,931
純資産合計	2,240,530	2,274,404
負債純資産合計	3,422,085	3,510,132

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	652,660	618,830
売上原価	505,098	455,628
売上総利益	147,561	163,202
販売費及び一般管理費	106,880	109,413
営業利益	40,680	53,788
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	8,224	8,211
受取賃貸料	2,319	2,326
その他	1,314	1,364
営業外収益合計	11,888	11,923
営業外費用		
支払利息	1,032	876
賃貸費用	1,690	1,558
その他	110	413
営業外費用合計	2,832	2,849
経常利益	49,736	62,862
税金等調整前四半期純利益	49,736	62,862
法人税、住民税及び事業税	16,763	38,258
法人税等調整額	849	17,377
法人税等合計	17,612	20,881
四半期純利益	32,124	41,981
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,890	3,902
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,233	38,079

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	32,124	41,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,817	13,595
その他の包括利益合計	1,817	13,595
四半期包括利益	33,941	55,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,051	51,675
非支配株主に係る四半期包括利益	1,890	3,902

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	49,736	62,862
減価償却費	15,961	18,013
賞与引当金の増減額(は減少)	39,615	37,900
貸倒引当金の増減額(は減少)	20	35
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,148	3,091
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,735	3,105
受取利息及び受取配当金	8,254	8,232
支払利息	1,032	876
売上債権の増減額(は増加)	47,130	59,793
たな卸資産の増減額(は増加)	35,879	107,182
未収入金の増減額(は増加)	11,333	3,920
仕入債務の増減額(は減少)	11,677	15,668
未払消費税等の増減額(は減少)	8,257	31,749
その他	12,645	14,985
小計	109,474	5,499
利息及び配当金の受取額	8,234	8,226
利息の支払額	1,172	923
法人税等の支払額	9,559	27,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,977	14,247
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	85,003	100,759
定期預金の払戻による収入	77,501	109,004
有形固定資産の取得による支出	34,270	24,147
投資有価証券の取得による支出	555	586
その他	1,673	1,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,001	15,111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	80,000	100,000
長期借入金の返済による支出	44,600	46,600
社債の償還による支出	25,000	-
配当金の支払額	12,355	16,581
非支配株主への配当金の支払額	315	525
その他の支出	3,534	4,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,804	31,652
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	57,171	2,294
現金及び現金同等物の期首残高	275,216	251,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	332,387	254,226

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	137,098千円	167,169千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	873千円	838千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
現金及び預金勘定	398,813千円	364,390千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	113,135	135,891
有価証券勘定	46,709	25,728
現金及び現金同等物	332,387	254,226

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,883	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成27年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成27年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成27年6月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円28銭	17円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	30,233	38,079
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	30,233	38,079
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年8月6日

不二硝子株式会社  
取締役会 御中

## 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊集院 邦光

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 杉本 健太郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。